

\*\*\*広報PJからのお願い\*\*\*

『おおさか剣道かわら版』についてのご意見、ご感想をお待ちしています。ご所属、お名前を記載の上、以下のメールアドレスまで投稿ください。

[info-shinsa◆osa-kendo.or.jp](mailto:info-shinsa@osa-kendo.or.jp)

上記メールアドレスは◆を@に変更後お使い下さい

\*\*\*\*\*

令和6年の7月号から、掲載されている記事ごとに1 いいね 2 いまいちだね の選択投稿ができるようになりました。非常に簡単ですので多数のアクセスをお待ちしております。

PCの方は下記URLへ（スマホも可）

<https://forms.gle/2KFpHetta2uP4JmH9>

スマホの方は、下記QRコードからアクセスできます。



従来のようにメールを利用されてもかまいません。

よろしく申し上げます。

\*\*\*\*\*

おおさか剣道かわら版（令和8年 広報誌3月号）をお届けします。内容は以下のようになっています。詳細は次ページ以降を参照ください。

- ・「新年互礼会」表彰の様式です。

今年も多くの特典された方々に対し、表彰が行われました。

全剣連からの有功賞、少年剣道教育奨励賞、大剣連推薦の大阪府 生涯現役スポーツ賞 全国大会優勝、八段御昇段。詳細は3月号をご覧ください。

（かわら版WGグループ）

- ・「着任のご挨拶」

今年の一より事務局に着任された古田さんです。まずは思い切って声をかけてみましょう。よろしく申し上げます。

（古田千穂 大阪府剣道連盟 事務局次長）

- ・「古書整理小委員会」 結果のご報告

資料のご寄贈感謝申し上げます、資料は引き続き随時受け付けており活用方法は委員会で検討中です。今後ともよろしくお願いたします。

（北端 浩三 古書整理小委員会 委員長）

・「八段位に向かって」

令和7年11月居合道八段審査会で見事合格された雪谷先生にお話を伺いました。  
今後も「無位真人」の心で修行と普及に努めていく決意が述べられています。

(雪谷祐和 無外流居合兵道振興会)

・「杖道だより」

杖道の活動やイベントを紹介するシリーズ第二弾です。令和7年12月と令和8年1月に月例研修会が行われ、年末の稽古納めと新年の稽古初めとして多くの参加者が熱心に取り組みました。1月には新年互礼会も開催され、七段合格者の表彰が行われました。さらに、江戸川区での六・七・八段審査会では複数名が昇段し、中央講習会では全国から集まった参加者が基本を学び合い、有意義な時間を過ごしました。あなたも体験してみませんか？

(西岡尋子 杖道広報担当)

・「居合道だより」

居合道活動やイベントを紹介するシリーズ第二弾です。令和8年1月、大阪市立千島体育館で新年合同稽古会が行われ、参加者からは初稽古を喜ぶ声や前向きな抱負が寄せられました。続く第2回特錬会(岸和田市)には74名が参加し、年齢を超えて熱気あふれる稽古となりました。あなたも体験してみませんか？

(白井昌広 居合道広報担当)

・「南森歴探散歩」その4 北西コース

2026年1月26日、中崎町駅から散策をスタート。最初に本庄公設市場跡を訪れ、大正期の大阪の暮らしに触れた後、中崎町の昭和レトロな街並みを散策。若者に人気の店や懐かしい学校机など、昔と今が混ざり合う「不易流行」の魅力を楽しみました。最後は蕎麦屋「福籠庵」で乾杯。良い一日でした。

(古田千穂 かわら版編集 WG)

令和 8 年 1 月 22 日、ホテル阪神において恒例の新年互礼会が開催されました。  
令和 7 年度の顕彰者の皆様をご披露します。おめでとうございます。



<全剣連>

- 有功賞 吉田 泰博氏  
水野 武氏  
森本 泰光氏

- 少年剣道教育奨励賞  
大阪一心道場（大阪北地区）

全国大会優勝

- パナソニック杯第 21 回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会  
小学生の部・大阪 A チーム

八段 御昇段

- 剣道 宮本 淳一氏（パナソニック剣道部）
- 剣道 木和田 大起氏（大阪剣道協会）
- 居合道 雪谷 祐和氏（無外流居合兵道振興会）

<大阪府 生涯現役スポーツ賞・大剣連推薦>

- 金賞 居合道 秦 富雄氏
- 銀賞 剣道 石井 晃子氏  
剣道 野口 祥訓氏  
剣道 松波 宏也氏
- 団体賞 剣道 守口剣友会



### ☆ 着任のご挨拶



2026 年 1 月 1 日付で、大阪府剣道連盟事務局に着任いたしました古田千穂と申します。

大人になってから剣道を始め、現在は五段です。日頃は大人

中心の稽古会で、多くの先生方と共に稽古をさせて頂いております。

着任から早くも 1 か月が経ち、これまで行政団体や体育施設、関係業者の皆さまへご挨拶に伺う機会を頂きました。どこへ伺っても温かく迎えてくださり、大剣連がこれまで築いてきた信頼の厚さを実感すると共に、今後の活動への

心強さを感じております。また、業務を通じて、大会・審査を含め日々の稽古環境が、多くの方々の支えによって成り立っていることを改めて学んでおります。

「稽古する立場」から、「支える立場」へ。剣道・居合道・杖道に関わるすべての皆さまのお力になれるよう尽力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局へお越しの際はどうぞお気軽にお声掛けくださいませ。皆様と直接お話ができる貴重な時間をもてればと思っております。

### ■ 古書整理小委員会 結果報告

昨年 3 月、かわら版において、皆さんに貴重な資料の寄贈をお願いしましたところ、昨年未までに 40 冊の寄贈がありました。この誌面をお借りして厚くお礼申し上げます。

なお、これで募集期間は一旦終了といたしますが、まだご自宅に眠っている資料等がありましたら、随時受け付けますので、引き続きご協力をお願いいたします。また、寄贈いただきました資料等の有効な活用方法については、委員会にて検討してまいりますので、今しばらくお待ち下さい。



## 『八段位に向かって』

昨年 11 月の居合道段審査で見事合格された雪谷祐和先生にお話を伺いました。

### 出会い

私と居合道の出会いは、35 年前、44 歳のころ「物事に集中出来ない自分に対し何か解決策はないのか」と思案していた時、ある会社の社長から真剣を見せていただき、「刀」についてのお話を聞いて、「これだ!!」と閃いたのが居合道入門のきっかけでした。

### 無外流居合兵道振興会

その後、大学時代に居合を習っていた友に会い、相談の後「即決!!」。真剣を半年かけて吟味し購入。その友人の勧めで、大阪府剣道連盟所属の無外流居合兵道振興会に入会いたしました。それから一途に居合道の修行に邁進し今日に至っております。

初めて段を戴いた時、「これから何年居合を続けられるかな? 五段? 六段が取れば良しとするか! 等々」考えた記憶があります。

### 八段審査

居合道を始めて 35 年余り、初めての八段審査。厳しい審査…当然合格はあり得ない。

審査当日早朝ランニングしてから東京江戸川スポーツセンター会場へ。

1 回目、指定技を見て、一刀目の抜きつけ、そして最後の血振り・刀礼焦らず自分の間(ま)で居合ができればいいかと思いつきながら演武したところ、まさかの 1 次審査合格にびっくり。2 次審査へ、しかし演武が進むにつれ冷静さを失ってしまいました。

受審 2 回目、京都・武道センター会場で 1 次審査…、自分に負けて一本目から緊張してしまい惨敗でした。

### 基本に立ち返る

和歌山県の無外流の八段の先生にご指導を仰ぎました折、遮二無二先を急ぐより基本に立ち返る大切さを痛感し、再度教本を読み返し「要義」「動作」等、作法から学び直しました。そして 3 回目の挑戦は令和 7 年 11 月 29 日、今回もランニングを終えてから江戸川スポーツセンターへ。

私の前の演武者の姿を見ていて、思ったこと。敵を切る形でなく一刀のもとに切る。あわてず残心を取る…。の基本が頭の中を横切りました。そして演武位置が一番左側であったため、他の人たちは眼中に入らず、なぜか私は自分の演武と影の敵を感じ、力を抜いて演武を終えた感があり、いつの間にか十二本を終え、不思議な感覚を覚えました。(今思えば「気剣体の一致」とはこのことかな…と思い感じております。)

そして結果、八段合格させて戴きました。

振り返ってみると、なぜか意識の中に無心の時間があり演じられたのだと不思議な思いが残っています。

そして居合道の「心技体の一意」がほんの少しだけ理解できた気がします。

### これからは「無位真人」

臨濟禅師の言葉ですが、この言葉通り修業を続け、自らを信じ、大阪居合道普及のため微力ではありますが、尽力して参りたいと思っております。

(無外流居合兵道振興会 雪谷祐和)



# 杖道だより

杖道の活動やイベントを紹介するシリーズ第二弾です。  
杖道を知って、あなたも体験してみませんか？

## 1. 月例研修会

【日時】令和7年12月13日（土）10時～16時

【場所】大阪市立修道館

【参加者】32名（男性23名・女性9名）

【感想】令和7年最後の研修会で稽古納めとなりました。大変寒さの厳しい中でしたが段別に分かれ、先生方の熱心な指導を受けました。

## 2. 月例研修会

【日時】令和8年1月11日（日）10時～16時

【場所】大阪市立東淀川体育館

【参加者】66名（男性48名・女性18名）

【感想】他県からの参加者もあり、大勢で活気のある稽古初めとなりました。1月23日の東京での六、七、八段審査に向け受審者は合格出来るよう審査上の着眼点を確認めながら稽古に励みました。総仕上げとして参加者全員の前で演武しました。



ロシア出身、サゾノフ マキシムさん  
杖道四段に聞きました。

Q. 杖道を始めたきっかけは？

A. 杖道と初めて出会ったのは、札幌で開催された講習会にロシアから来日した武道家一団の通訳として招かれた時です。その時、目にした杖道の堂々とした姿や動きの美しさ、一本の素朴な杖によって刀に立ち向かう発想が私に強烈な印象を与えた。



Q. 杖道の魅力と今後の目標は？

A. 相手を傷つけることなく制し、止め、戒めるという精神のもと自らを鍛え、人格を磨くことができると思います。稽古を重ねれば重ねるほど形や一つ一つの動きが単純ではないことに気付かされます。これからはより丁寧に学び得たものを次へと伝えて行きたいと思います。

## 3. 新年互礼会

【日時】令和8年1月11日（日）18時～20時

【場所】シティプラザ

大阪【参加者】70名

【感想】令和7年に七段に合格されました方々が森本訓史杖道部々会長よりお祝いを受けました。

写真右より馬場威夫（97歳）、堀江百合子、平山洋昭、山田剛正、藤田潤三郎（欠席）。



## 4. 八、七、六段審査会

【日時】令和8年1月23日（金）10時～17時

【場所】江戸川区スポーツセンター

【結果】七段合格者 中田 環、老松 克博

六段合格者 小西 薫、竹井 康哲、

篠原 邦彦

昇段おめでとうございます。

## 5. 杖道中央講習会

【日時】令和8年1月24、25日

【場所】江戸川区スポーツセンター

【参加者】468名（大阪15名）

【感想】段別に分かれ、講師の先生の指導のもと基本打ちの大切さを考えながら、普段稽古することのない他府県の方々と杖を合わせることができ学びの多い時間を過ごすことができました。

（杖道広報担当 西岡尋子）

# 居合道だより

居合道活動やイベントを紹介するシリーズ第二弾です。  
居合道を知って、一緒にやってみませんか？

## 新年合同稽古会

令和8年1月10日、大阪市立千島体育館で令和8年稽古始めとなる合同稽古会が開催されました。参加者から、「初稽古に参加できてとても嬉しいです。」「感謝の気持ちを忘れず、居合道を楽しみます。」等の感想をいただきました。

新年を迎えるにあたり、各自で「昇段する」、「試合に勝つ」、「継続して稽古を続ける」等具体的に達成可能な目標を設定して日々の稽古の質を高めていきましょう。

## 令和7年度第2回特練会



(特練会稽古風景)

令和8年1月24日岸和田市立中央体育館で第2回特練会が開催されました。参加総数74名、19歳から97歳まで老若男女が一心不乱に寒さを吹き飛ばすくらいに熱気溢れる稽古となりました。参加者からは、「先生がしっかりと手取足取り教えてくださいました。」「特練会に参加して新しい発見がありました。」「あっという間に楽しい時間が過ぎました。精神を集中させることで心が落ち着く感覚を味わい、武道の深さを実感しました。」の感想をいただきました。次回も頑張って稽古しましょう。

## 日本刀及び模擬刀の取り扱いについて

### 居合道における日本刀及び模擬刀の取り扱い要領

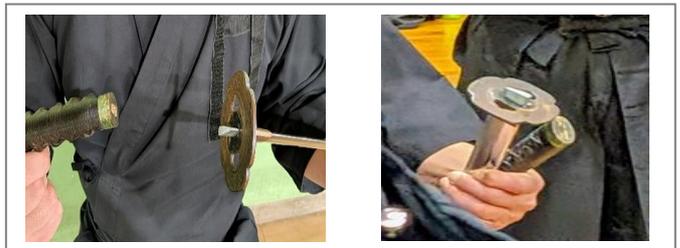
日本刀は霊器と崇められ、武士の魂とも言われています。居合道では原則日本刀で稽古します。全日本剣道連盟の居合道の試合では、鍛錬され十分な品位を備えた真剣を使用すると定められています。

模擬刀は日本刀の模造品であり、居合道や剣道形の稽古等広く使用されています。専門業者が専ら居合道の稽古用として材質や安全面に配慮して制作した模擬刀を専ら装飾用に制作した模擬刀と区別し「居合



(新年合同稽古会 稽古風景)

刀」と呼んでいます。初心者の頃から日本刀を使用し稽古する方もいますが、概ね居合道四段位までは居合刀を使用し稽古する方が多いです。武器であり物を切るために鉄と炭素を基本とする鋼を鍛造して作られた日本刀に比べて、強度は劣るものの亜鉛合金等で制作され適度な強度を持つ合金製の居合刀は、刃が無いため怪我の心配が無く伸び伸びと稽古することができます。居合道の発展普及に一役買っています。



ところが新年合同稽古会で居合刀が折損する事故が発生しました。

所有者によれば、「大学生の頃から10年以上使用していた」とのことです。長年の使用により金属疲労で刀身が折損したと思料されます。

私は居合道を30年以上稽古していますが、居合刀が折損するのを見たのは今回で2回目です。滅多なことでは起きないことですが、居合道や日本剣道形等を稽古する際に事故が起きないとは限りません。

そのためには日頃からの点検が重要です。目釘の折れや脱落、刀身と柄の間の隙間が無いか、鯉口は緩んでいないか等稽古する都度点検を行いましょう。

稽古によって積み重ねる時間と共に、身体の一部になるように日頃から愛着をもって日本刀(居合刀)に接し、共に成長していきましょう。

(居合道広報担当 白井昌広)

## 南森歴探散歩「その4 北西コース」中崎町から歩いてみました!

「南森界限歴史探訪散歩」大剣連事務所へ行くついでに、一つ手前からか、一つ向うの駅まで歩いてみる企画です。かわら版編集WGの8人で北西コースをぶらぶら歩いてみました。今回は、現場でどのような発見があったでしょうか?

☆☆☆皆さんからの持ち込み情報、大歓迎です!☆☆☆

2026年1月26日(月)14:30~中崎町駅に集合

1月号にて「南森歴史探訪」が配信され、委員会のメンバーの皆様と一緒に、そのルートをたどってきました。冷え込みが一段と厳しく、空は薄曇り。幸いにも風がなかったため、厳しい寒さの中でも落ち着いて散策スタートとなりました。最初のポイント：**本庄公設市場石碑**。大正8年創設、大阪初の公設市場です。第一次世界大戦後の物価不安や生活必需品の供給不安定への対応として、大阪市が設置しました。当時の写真を見ると、盛況であった様子がわかります。当時の市場の看板上に飾られた八咫鳥のモニュメント(実物は火災により焼失)が、石碑と共に残されています。その後、若者に人気の中崎町、

**昭和レトロの街並み**を散策。狭い道を右へ左へ縫うように進んでいくと、住宅街に囲まれた小さな公園、両脇に間口の狭い、入口ドアノブが低い、天井が低い、レトロ調を活かした可愛らしいお店が多く立ち並んでいます。町の風景を楽しむ人、ショッピングを楽しむ人など幅広い年代の人が楽しめるしくみが出来ています。町並みの佇まいを大切に守りながら、リノベーションによって新しい魅力をまとった店舗が並び、まさに「不易流行」を体現する地域の姿が印象的でした。



太融寺境内の白梅

とある店先に飾られた学校机、天板も脚部分もすべて木製。この机懐かしい!との声がメンバーから。あれ、自分が当時使った机は、天板は木製、脚は金属製だったはず……。思わぬところで、学校机の変遷も知ること。この先の散策に期待が高まります。ここは若者にも人気の界限とあって、若い女性連れがお店に入っていくのを見ると、何があるのかな?と興味深々で、つい視線が後を追ってしまうメンバー。吸い寄せられるように一行から離脱!? 見えなくなったメンバーを慌てて呼び戻し、軌道修正です。次のポイントへ向かいます。

希代のプレイボーイ光源氏のモデルといわれる源融(みなもとのとおる)ゆかりの**綱敷天神社**。あやかりたい方が、お賽銭を弾んでいます。豊臣秀吉の後妻・淀君の墓がある**太融寺**をへて扇町公園へと向かいます。ここは、かつての堀川監獄跡にできた観客収容数の多いプールとしてギネスブックにも掲載されました。

旧飛び込み台もあり、メンバーにはもちろん台に上がっていただき記念撮影です。都会の真ん中に緑が茂り、ゆったりとした時間の流れ、のどかさを感じる空間。タイミングよく晴れ間も見え、公園のベンチでひなたぼっこをしながらひと休みです。

次は、毎年1月に十日えびすでにぎわう**堀川戎神社**へ。1400年もの長い歴史を持つ“福の神さま”が見守る癒しのスポットを参拝しました。ここから大剣連事務所までは多くのお寺が点在しています。まずは、大塩平八郎の墓がある**成正寺**から。



大塩平八郎は、天保の大飢饉により、大坂の民衆が飢餓に喘いでいることに心を痛み、幕府が年貢として保管している蔵米を民衆に与えることなど献策を行うも聞き入れられず。状況は好転しないまま、さらなる豪商による米の買い占めが行われ、一層米価高騰が加速。大塩平八郎の怒りも募り、武装蜂起へと発展……。これが大塩平八郎の乱と言われています。この乱により大坂の町が火の海となり、策も幕府に届かず、平八郎は自決に追い込まれます。現代の米不足問題に通じるものがあり、大塩平八郎が感じた不甲斐なさも、想像ができるような気がします。続いて、**妙福寺→蓮光寺→智源寺、天神橋三丁目商店街**を横切って、さらに**善導寺→天徳寺→栗東寺→天満寺賽珠院**。こんなにも多くの寺があるとは。お寺は町の生活に密着しており、商売で明るくにぎわう一方で、町の人々の心に寄り添う場所として共存していたことが感じられます。

大剣連事務所まで、およそ2時間30分、7,000歩。長時間の散策でしたが、さすがメンバーは健脚でおられます。疲れの色よりも、寒さで顔色が青白くなっていたのが印象的でした。

打ち上げは木部事務局長御用達の蕎麦屋「福籠庵(ふくろうあん)」、お約束のお疲れナマ(ビール)にて乾杯。次回は、もう少しあたたかくなってから……。楽しい散策の様子を報告しますので、お楽しみに。

(かわら版編集WG 古田千穂)



# 堺市民オリンピック(剣道競技の部)について

令和7年10月13日に開催された第51回堺市民オリンピックにおいて、  
剣道競技の部が初めて実施されました。その様子をご紹介します!!



**1** 第51回を数える堺市民オリンピックですが、剣道競技の部として剣道が参加するのは初めての事です。今回、堺市民オリンピック委員会から堺市スポーツ部スポーツ推進課を通じて、堺市剣道協会に参加依頼がありました。堺市剣道協会理事会において幾度となく話し合いがなされるとともに、花澤博夫会長、隅田昌憲事務局長等の役員と堺市スポーツ推進課とが打ち合わせを重ねて開催する運びとなりました。

**2** 当日は、剣道の普及を目的として、初めて剣道というものに触れる小学生以上の初心者を対象として、剣道体験会を開催しました。

また、堺地区に所属する少年剣士(小学生及び中学生)を対象とした練成会も合わせて実施しました。

午後からは、二段から七段までの剣士による立合い、そして八段の先生方を交えての合同稽古も実施されました。

**3** 開会式の後、演武が披露されました。

① 教士七段三村賢吾先生が指導に当たり、大阪つばさ剣道クラブ6名の少年剣士による「木刀による剣道基本技稽古法」の演武が行われました。

少年剣士6名は、元気いっぱい大きな掛け声



とともに木刀による剣道基本稽古法を披露してくれ、見ている観衆からも大きな拍手を受けていました。

② 教士八段米村幸生先生、教士八段石田洋二先生による日本剣道形の演武が行われました。紋付袴の正装で、刃引きを使用しての演武は、見ている観衆にもその気迫が伝わったのか、会場は静まり返り全員が二人の先生の演武に見入っていました。



特に、初めて日本剣道形を見たであろう、初心者の子供たちやその保護者の表情は真剣そのものでした。

**4** 剣道体験会

① 初心者の子供たち及び保護者に対して、堺市剣道協会が準備した竹刀等を使用して、新聞紙切り、丸めた新聞紙を竹刀で打つといった遊び感覚の剣道体験を実施したところ、親子で非常に盛り上がっていました。



② その後、実際に竹刀を使用して素振りや打ち込みを体験させましたが、全員が真剣な眼差しで行っており、今後もこのような体験等を通じて剣道人口が増えてほしいと感じました。



**5** 練成会：堺地区に所属する、赤坂台剣道クラブ、上連合子ども会剣道クラブ、威徳会、英彰剣道クラブ、済美館剣道、大阪つばさ剣道クラブ、興風会、初芝剣正会、堺警察少年剣道推進会、誠心館、大人の剣道稽古会、泉北清心館の各少年剣士が合同で基本稽古、打ち込み稽古、互角稽古等を実施しました。

**6** 午後からは立合い(2分間×2回)を実施しました。四段以下の部(7名参加)、五段の部(7名参加)、六段の部(6名参加)、七段の部(12名参加)。

その後、花澤博夫八段、米村幸生八段、石田洋二八段他参加者全員による合同稽古を実施して終了しました。

**7** 今回、初めての取り組みではありましたが、特に初心者に対して行った剣道体験会は非常に盛り上がり、剣道の普及発展ということに関しては良かったのではないかと感じました。

今後、機会があれば新しい企画等を考えて、剣道の発展のためさらに頑張っていきたいと思います。

(堺市剣道協会事務局長 隅田昌憲)

